北小物語2018

平成３０年１１月２２日
平戸市立田平北小学校
学校便りＮｏ.（ ６４ ）
校長　曽川　和則

◇◇◇「いい顔」「いい声」「いい心」たゆみなく流れて清き「わが田平北小」◇◇◇

学校教育目標：「進んで学び、心豊かで、心身ともにたくましい児童の育成をめざす」

☆★☆彡 第６４話：「北っ子の秋たけなわ～食べ物に感謝！家族に感謝！～」の巻 ☆★☆彡

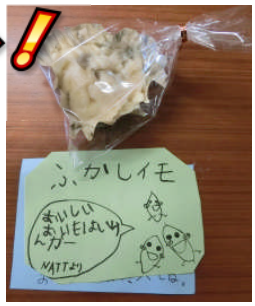
おいも、ほったどおおおおおおお！

北っ子の秋たけなわ：みんなでいもほりがんばったよ！

北っ子の秋たけなわ、まさに小春日和の２０日（火）学級園で大きな歓声が上がりました。「あった！」「大きいよ～！」「つながってる～？」・・・土をかき分けていくと次から次に出てくるサツマイモに子どもたちは大はしゃぎです。中庭いっぱいに「芋づる式」という言葉の語源ここにあり！の光景が広がりました。☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

アサガオの観察の時もそうでしたが、小さな種、一本の茎から大きく育つ花や実。太陽の光、雨の恵みを受け、長い時間をかけて少しずつ少しずつ成長していった結果（サツマイモ）を今、子どもたちは手にしているのです。そんな子どもたちに伝えたいのは「感謝」の二文字です。長い時間と大きな苦労が私たちの体をつくる食べ物となります。「ご飯粒を残すとばちが当たるよ」昔、母が口癖のように言っていた言葉を思い出しました。５年生のお米作りもそうですが、「収穫」の喜びを「感謝」の気持ちへと高めたいものです。子どもたちのいもほりの隣では、虫たちが冬の準備を始めています。

おいしいおいもはいらんかねぇ～！



収穫したおいもを早速、調理してくれたのは、ＮＡＴＴ（なかよしあおぞら・たいよう・たんぽぽ学級）の子どもたちです。校舎Ｃ棟廊下には、ふかしいもやいも餅、いも蒸しパンに変身したサツマイモのスイーツが所狭しと並べられていました。そして、２年生「かさこじぞう」の音読劇で聞いたようなセリフが聞こえてきました。「え～おいも、おいもはいらんかねぇ～！おいしいおいもはいらんかねぇ～！」いただいたチケットで購入したいも蒸しパンは最高においしかったです。

決行！1年生お手伝い大作戦！

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

２１日（水）腕まくりをした１年生の子どもたちの行列が校長室の前を通って行きました。子どもたちはとても神妙な顔つきです。「何か、あるのかな？」と思って、ごんきづねのようにそーっと後をついて行きますと、そこには、お手伝い大作戦のコーナーが待ち構えていました。「皿洗い」「洗濯物たたみ」「はきそうじ」そして、「くつ洗い」の体験です。保護者の方にもお手伝いの師匠になっていただき、子どもたちの悪戦苦闘のお手伝いワールドが展開されていました。身に付けたお手伝いの技をきっと、三連休の日に発揮してくれるはずです。ご期待あれ。